



東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う

ワイズの信条

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにY M C Aに尽くそう
1. 世界的視野をもって国際親善を図ろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてY M C Aの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

【2023～2024年度主題】

国際会長 **Ulrik Lauridsen (Denmark)**

主題：“Let Your Light Shine” 輝かそう、あなたの光を」

スローガン：“Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation”

「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

アジア太平洋地域会長 **利根川 恵子 (川越)**

主題：“Be the light for change” 「変革のための光となろう」

スローガン：“Shine and empower through fellowship” 「親睦を通して、輝き、力を得よう」

東日本区理事 **山田 公平 (宇都宮)**

主題：“Instil Confidence in our Youth !”

「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

スローガン：“Youth Empowerment through SDGs Youth Action”

「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」

あずさ部長 **森本 俊子 (長野)**

部長主題：よい結果をもたらす心の安定と考える力

副主 題：面白いと思えることを再発見しよう。

東京武蔵野多摩会長 **宮内 友弥**

会長主題：“第二期に向けての工程作り”

2023年

合併号の聖句

「今から後、いつの世の人も わたしを幸いな者と言うでしょう」

「ルカによる福音書 第1章48節」

9月例会の予定

強調月間：EMC

クラブ例会

日時：9月13日(水) 19:00～20:30

会場：東京YMCA西東京コミュニティセンター

〈プログラム〉

司会（進行）：渡辺

* 開会挨拶（宮内会長）

* 聖句朗読・説明（江夏）

* ゲスト、ビジター、メンバー紹介（宮内）

* 卓話 中村吉孝 19:30-20:00

「YMCAとボランティア（研修会の内容紹介）」

* 連絡、報告、にこにこ

* 閉会挨拶

7、8月例会報告(7月/8月)

出席者 6名/4名

在籍者 8名/7名

メーキャップ 0名/1名

出席率(%) 75%/71%

ゲスト(リーダー) 0名/3名

ビジター 0名/4名

メネット・コメット 0名/0名

ハッピー・バースデー

7月：なし、8月：中村

9月：宮内

ファンド関係

	7月度	8月度	累計
にこにこ	0	0	0
2次会 にこにこ	0	0	0
メルカリ	0	0	0

IBC

Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)

Seoul Han Yang Club (韓国)

DBC

神戸学園都市ワイズメンズクラブ



ワイズメンズクラブ紹介ページ



東京武蔵野多摩クラブWEBページ



Facebookページ

【2023-24 クラブ役員】

会 長	宮内 友弥
副会長	渡辺 大輔
書 記	中村 吉孝
会 計	山口 直樹

会長就任にあたって

宮内 友弥

新年度クラブ会長として就任された小林文彦ワイズが、体調不良で辞任を余儀なくされたため急遽8月1日付けにてクラブ会長を仰せつかりました宮内です。小林さんは60年近く前の高校生の時にYMCAとの関わりをスタート、学生時代は野尻湖・山中湖の駐在リーダ、目黒YMCAでサイクリングとキャンプリーダー等を担当されました。このYMCAでの貴重な経験を活かして、再開が期待される東京YMCA西センターの活動にどう関われるかを模索したいとの熱い思いで、「会長主題：第二期に向けての工程作り」を掲げられました。（小林会長の会長主題は、下記をご参照ください。）本年度は、小林さんの思いをしっかりと受け止めて会長主題に掲げられた目標に向かってクラブ一丸となって尽力したいと思います。

会長主題：第二期に向けての工程作り

小林 文彦



日本におけるワイズ活動は1928年に最初のクラブが発足し、2028年に101年目を迎える。いわば第二期がスタートしようとする。しかし今、現場では様々な課題を抱えており、これからの5年間、東日本区、あずさ部、当クラブがそれぞれどのように施策を取れるかで、第二期が新たな展開の場となるか、衰退への道を辿るのかの分水嶺を迎えようとしている。

東京武蔵野多摩においては、一年ぶりに再開される西センターの活動サポート、近隣クラブとの協力し活動の活性化、地域との関係強化などを図りたい。

ワイズに限らず現代において、組織運営はとても難しい問題だと思う。ましてや特別の能力も優れた発想力を持つわけでも無い自分が、この一年クラブをどうマネージしていくのかを考えた時、前例に従い淡々とプログラムをこなしていくのが一番無難な方法ではあるが、その結果は主題で述べた通りに、組織として衰退への道のりを後押しする事になりそうである。従来は各クラブが孤軍奮闘して何とか活動を維持してきた。その結果拡大を続けているクラブはさらなる隆盛を追求していけばよいと思う。その一方高齢化などでアクティブメンバーが不足しているクラブにおいては近隣クラブとの共同プログラムなどで、単独ではなかなか難しい企画実施などで活性化が図れるのではないかな。また、本来は会員増強を目指すのが本筋だが、まずは企画実施にあたり協力していただける方々との関係を作り、クラブのサポーター的な人達を増やすことで、次のステップとして会員化に繋がれたらとも思う。抱負とは言えない雑感だが、新年度に向け何となく思うところだ。

YMCAとの関わりを辿ると60年近く前の高校2年の秋まで遡る。サッカー部を辞め家でぶらぶらしていた私を見かね、神田の英語学校秘書科に通っていた姉が「土曜日の午後、中高生が集まって文化部みたいな事をやっているよ」との一言が始まりで、少年部に通うようになった。学生時代は夏は野尻湖・山中湖の駐在リーダをやり、それ以外の季節は目黒YMCAでサイクリングとキャンプリーダーを担当していた。学校にいるよりYMCAに居る時間の方が長い勉強しない学生だったがYMCAの方が魅力的だった。その時の高校生グループのメンバーやリーダ仲間とは今でも年数回集まったりして60年近い交流が続いている。

リーダ時代のワイズの印象は、夜な夜なお父さん世代が集まってきて何かやっているな、位の認識しかなく自分たちの活動との関わりについて考えた事すらなかったが、西センターでの活動が再開されるにあたり、自分たちが活動にどう関われるかを模索したい。

*「6月例会報告」 山口 直樹

6月14日(水) 19:00～20:30

出席者 中村、伊佐、板村、小林、山口、渡辺、江尻
本日はズームでの開催。

1. 22-23年度クラブ総会

Aまず、中村会長より年度の総括があった。

会長主題：「未来に向けて、まずは会員増強から」

- ・まずは魅力ある卓話者の設定により例会プログラムを充実
→クラブメンバーの皆さんから、休会メンバーにも声をかけていただき、
懐かしい皆様に繰り返し例会でお会いすることができた
- ・東京YMCA西東京センターでは江尻さんを新たな担当主事にお迎えし、
クラブとしても新たな拠点作りを支援する準備が整ってきた
- ・東京武蔵野多摩クラブ40周年記念誌の発行と、そのお披露目として
DBCクラブとの合同例会
- ・メルカリ活用による不用品販売によるクラブファンドの本格運用（10,777円）
目に見える「会員増強」は叶いませんでしたが、東京武蔵野多摩クラブの活動を活性化できた1年でした
皆さま、1年間のご協力をありがとうございました
メンバーからも、充実した内容の例会が多く、ズームの活用で広がりを感じた。
特に、神戸学園都市と岡山との3クラブの合同例会は新たな可能性を作った。
などとの意見が出た。

B 中間決算報告

宮内会計が準備した、5月末現在の会計報告がなされ、黒字決算になるとの報告があった。

2. 評議会準備

7月15日開催の次年度第一回評議会に関して検討を行い、「未来のために今、学びと気づきを！評議会」と
することとしたほか、細部の検討を行った。今後、部キャビネットと打ち合わせを進める。

3. 原村訪問

7月29日(土)にこひつじ幼稚園を訪問し、昼食・中村園長先生の話のを伺うことを基本とし、松本クラブなど
に声掛けを行っている。

その後、スケジュール等の都合が悪くなり、日程は再度検討することとなった。

4. その他

- ・担当主事の江尻さんから、外国にルーツを持つ子どもたちへの支援プログラムの計画を聞いた。YMCA
の新たな動きを感じた。期待。
- ・中村会長が厚木YMCAのリーダートレーニングの講師を務めるとのこと。ユースとのつながりが始まっ
た。

*「7月例会報告」 中村吉孝

7月12日（水）19：00から今年度初例会を開催した。例会はZOOMによるオンライン会議で、クラブ協議会
を実施。参加者は宮内、中村、山口、江尻、渡辺、板村の6名であった（小林会長は体調不良のため欠席）。議
題は、①新年度会長主題の共有、②昨年度会計の報告であり、両議題とも賛成多数で承認された。その後、7月
15日（土）に開催のあずさ部第一回評議会（東京武蔵野多摩クラブがホストを担当）での役割分担と進行確認
を行い、7月例会を終了した。新年度のスタートとなる初例会ではあったが、評議会準備に追われてしまい、や
や実務的な作業に偏った内容となった点は反省が必要。今後はクラブメンバーの懇親を深める対面でのリアル
例会開催への注力が望まれる。

*「8月例会報告」 中村吉孝

8月9日（水）19：00から8月納涼例会を開催した。

例会はお馴染みのカフェネージュで、食事を頂きながら懇親を
主として実施。参加者は自クラブから、宮内さん、山口さん、
板村さん、麻生さん、大輪さん、野尻さん、中村、ビジターと
して八王子クラブから、並木さん、長谷川さん、小口さん、東
京西クラブから本川さんの計11名であった。当クラブでは小林
会長の急逝に伴い、8月から宮内さんが会長に就任された。こ
の日は小林さんへの黙祷の後、直前会長の中村から宮内新会長
への会長バッチの引継ぎ式を行った。例会ではクラブにおける小林さんのこれまでのご活躍や、亡くなる直前
まで続いたリーダーOB仲間との深い交流の様子を伺うことができた。いつもながらの美味しいイタリアンを堪能
し、他クラブの皆さんとも懇親を深めることができた感慨深い例会となった。



「厚木YMCAでのリーダー研修会」

中村吉孝

ワイズの活動で私が湯河原クラブに入会した当初からお世話になっている厚木クラブの田口堅吉メンからの依頼があり、厚木YMCAでのリーダー研修会（6月25日12：15～13：15）に講師としてお伺いした。田口メンは、私が京都のYMCAに幼稚園の頃からメンバーとして通い、その後、大学時代に北海道YMCAリーダーとして活動した経験を交えて、現在の学生リーダーの皆さんへのメッセージを伝えてほしいというリクエストであった。

田口メンから厚木YMCAの阿部館長をご紹介いただき、事前のヒアリングなどを行い、私なりに現役リーダーへのメッセージを準備して研修会に臨んだ。当日は厚木YMCAに加えて、戸塚YMCAおよび川崎YMCAのリーダー（合計10名）に参加いただいた。研修のテーマとして「YMCAとボランティア」を設定し、「ボランティア」の語源（「志願」＝「意思を持って手を挙げること」）や、YMCAが「ボランティア」を通してユースリーダーに求めていることを私なりにまとめて紹介させていただいた。加えて、ワイズメンズクラブとYMCAが共同で行っている「SDGsユースアクション」および「ユースボランティアリーダーズフォーラム」のアピールをおこなった。後半部分については、今年度の山田理事のスローガンである「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」のための良い広報になったと感じている。今後も機会があれば、今回のプレゼン資料をアップデートし、現役リーダーの皆さんに直接アピールしていきたい。

あずさ部第1回評議会

（「未来のために今、学びと気づきを！評議会」）

板村哲也

日時：2023年7月15日（土）13:30～17:00

場所：高尾の森わくわくビレッジ

ホストクラブ：東京武蔵野多摩クラブ

参加者：56名（当クラブ：中村、宮内、山口、渡辺、板村）

評議会にて下記の3議案が審議、承認された。

1 2022-2023年度会計決算報告

収入：1,313,607円、支出：969,315円

次期繰越：344,492円

2 2022-2023年度会計決算監査報告

議長提案で第1号議案に先行実施

3 次期部選出人数割り代議員推薦の件

森本俊子さん（現部長）を承認。

審議終了後部長、事業主査、クラブ会長、部エクステンション委員長の報告が行われた。

14時30分より山田公平東日本区理事の講演「2023-24年度方針と計画」（約40分間）が行われ、区の現状についての3つの問とそれを解決するための具体的8目標が述べられ、クラブ、部、区、個人でどこかに参加しようと呼びかけが行われた。

＜ワイズ現況にある3つの問＞

①30代-50代の会員減少、クラブ維持はできるか

②区の運動に勢いと希望を持つための工夫

③ワイズの働きはYMCAに役に立っているか

＜8つの具体的目標＞

①ユースアクションをワイズの看板に

②北海道や学Yを2023-24の特別地域に

③福島と長野にYMCA運動を

④クラブライフの充実のために

⑤国内での活動の充実を目指す

⑥BF、TOF、IBCを関連づけて実施

⑦iGoの国内版（ユースの3-4週間受入研修）

⑧ワイズ将来構想検討委員会を発足

講演の後、理事の方針や施策につき参加者が7グループに分かれ、熱心な討議（30分間）を行い、各グループ代表より結果発表を行った。最後に理事より分団討議の結果につき講評を頂いた。

続いて懇親会が行われ18:00に解散となった。



＜東京YMCA便り 7月＞

江尻 明子

1. 5月27日、「第20回東京 Y M C A 会員大会」が開催され、山手センターに73名が集い、約10人がYouTube配信を視聴した。開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部が開会。菅谷淳総主事から東京 Y M C A の活動報告があり、2023年度の会員部運営委員が推挙された。また長年「中国語の聖書に親しむ会」をご指導くださった故仲田達男氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。第三部では、日本 Y M C A 同盟の横山由利亜氏より、Y M C A が展開しているウクライナからの避難民支援活動の報告があり、さらに2月にバングラデシュを訪問した東京 Y M C A 職員4名から現地訪問のレポートがあった。席上、東日本大震災復興支援のための石巻物産販売を行った他、国際協力募金の呼びかけには、32,198円のご厚志が寄せられた。
2. 6月22日開催の定時評議員会にて、任期満了となる6名の理事、2名の監事、14名の評議員の改選が決議された。新任の理事に榊原正人氏、綿引康司氏が、新任の評議員に佐渡加奈子氏、篠田真紀子氏、堀口廣司氏が就任した。また、評議員会会長に古賀博氏が重任し、評議員会副会長に尾崎久美子氏が就任した。
3. 今年、山中湖センターが開設100年を迎えるのを記念し、様々な課題を抱えながら生活している子どもたち100人を山中湖センターで実施するキャンプに招待する企画をスタートする。初回は、コロナ禍の影響や物価上昇等により経済的に困難を抱えるご家庭の子どもたち（小学生35人）を対象に7月27日～29日に「山中エンジョイキャンプ」を実施し、第二弾として外国にルーツのある子どもたち（小中学生25人）を対象に8月22日～24日に「サマーキャンプ2023」を実施する。なお、10月より、「山中湖センター100周年記念募金」を開始する予定。
4. 国立と経堂をエリアとした居場所事業では、新たな取り組みとして「外国にルーツのある子ども」を対象としたプログラムを展開する。夏には宿題サマースクール、キャンプをY W C A や一橋大学の大学院の協力を得ながら実施する。ボランティアに大学生や専門学校生だけでなく、高校生や社会人も加わり、ボランティアのつながりの強化も図っていく。
5. 今後の主な行事日程
 - ・ 外国にルーツのある子どもたちの宿題サマースクール
7月26日（水）・8月9日（水） 13：30-16：00 国立（西東京センター）
7月27日（木）・8月2日（水）17日（木） 13：30-16：00 経堂（西東京センター）
 - ・ 外国にルーツのある子どもたちのサマーキャンプ
8月22日（火）～24日（木） 山中湖センターにて
 - ・ 「第21回アジア・太平洋 Y M C A 大会」 9月15日～20日
テーマ：回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革」
会場：インド・チェンナイ
 - ・ 「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング（オンライン）：9月16日～23日

訃報

クラブ会長小林文彦（こばやしふみひこ）さんが去る2023年8月3日ご逝去されました。享年71才。

葬儀告別式は8月8日(火) 東京都品川区の桐ヶ谷斎場で執り行われました。

小林さんは高校2年生の時、神田美土代町に有った東京YMCA会館の地下室の中央ランチ少年部に参加したことからYMCAとの関係が始まり、以来高校時代、大学時代（リーダー）を通じYMCAの様々な活動に参加されました。これらの活動の中の多くの人的繋がりから2017年10月当クラブに入会されました。以降クラブで2018年度～2019年度（2年間）書記、2020年度～2022年度（3年間）副会長を歴任され、今年度は会長としてクラブの活性化を目指しておられました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

＜東京YMCA便り 8月＞

江尻 明子

1. 7月30日、「下町子どもダイニングスペシャル」を東陽町コミュニティーセンターで開催した。日頃「下町子どもダイニング」のプログラムで子どもたちのゲーム指導を担っているボランティアリーダーに加え、夏休みを利用してボランティアを希望する高校生・大学生15人が集まり、当日の準備、調理、配膳、ゲーム指導、片付けを行った。
2. 今夏は幼児から高校生、及びファミリーを対象に、山中湖センター、野尻キャンプ、高尾の森わくわくビレッジを中心に10の宿泊キャンプと日帰りキャンプを実施し、延べ約500名が参加した。また海外キャンプ「ダイナミックサマー」は、ハワイ、ニューヨーク、ボストンの3コースに小学3年生から高校生合わせて約30名が参加し、無事に終了した。
3. 南居場所事業部、及び西東京居場所事業部では、言葉や文化の違いから生きづらさや困難を抱える子どもたちをサポートすることを目的に、日本在住の外国にルーツを持つ子どもたちのためのサマーキャンプを8月22日～24日に山中湖センターで実施した。
20名の小中学生と15名のボランティア・スタッフが参加をした。お互いに気持ちを伝えるために、言語だけでなくイラストや身振り手振り、相手に理解してもらおうという気持ちがたくさんあふれた時間となった。今後の展開方法を検討している。

4. 今後の日程

- ・「第21回アジア・太平洋YMCA大会」 9月15日～20日
テーマ：回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革
会場：インド・チェンナイ
- ・「第26回会員芸術祭」（オンライン芸術祭） 9月～10月（東京YMCAのHP上に掲載）
- ・「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング（オンライン）：9月16日～23日
チームウォーキング（オンライン）：9月23日～10月1日
チームレース（都立木場公園）：9月23日
- ・「J.T.スウィフト主事&ミラー主事墓前礼拝」10月7日
会場：横浜外国人墓地（横浜YMCAと共催）
- ・「ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会」 11月6日～8日 会場：台北YMCA
テーマ：「神の視点と聖書の知恵から現在の経済状況に向き合う」

今月および今後の行事予定

9月13日（水）第1例会（ハイブリッド）	11月 3日～5日 第30回アジア太平洋地域大会
9月27日（水）第2例会（Zoom）	11月15日（水）第1例会（ハイブリッド）
9月29日～10月1日 ユースボランティア・リーダーズフォーラム	11月29日（水）第2例会（Zoom）
9月30日～10月1日 富士山例会	12月10日（日）松本クラブ35周年記念例会
10月11日（水）第1例会（ハイブリッド）	12月未定 忘年例会
10月21日（土）あずさ部部大会（長野）	12月27日（水）第2例会（Zoom）
10月25日（水）第2例会（Zoom）	